

|       |                |        |        |
|-------|----------------|--------|--------|
| 講義名称  | ボランティア・プロジェクトA | 担当教員名  | 山本 有紀  |
| 科目群   | 人文学 (HUM)      |        |        |
| 科目区分等 | キリスト教          | 単 位    | 2      |
| 対象学年次 | 1年・春学期         | ナンバリング | HUM119 |

|               |   |
|---------------|---|
| 授業のキーワード      | 共に生きる・市民的活動・持続可能な社会   |
| 授業の概要         | ①アジア学院での3泊4日のワーク・キャンプを行う。②事前学習＝プロジェクトとして2回、「わかちあいカフェ」の企画運営を行う。③定員10名。                       |
| 期待される学習成果（目標） | ①ボランティア活動の企画運営の方法を学び、実践体験を積む。②同じ活動を担う仲間のネットワークづくりの機会を持つ。③他者と共に生きる、持続可能な社会を創り出す具体的実践を体験的に知る。 |

| 授業展開 |                |   |
|------|----------------|---|
| 回    | テーマ            | 内 容   |
| 1    | オリエンテーション      | 授業の進め方、評価の方法などについて説明する。                     |
| 2    | 事前研修①          | 「おいしいコーヒーの真実」(DVD)鑑賞。ミニ・レポート課題。             |
| 3    | プロジェクト①        | 学期に二回の「わかちあいカフェ」のための企画を立て、第一回開催準備を行う。       |
| 4    | プロジェクト②        | 第一回「わかちあいカフェ」の実施と評価(6月)、及び第二回にむけてのディスカッション。 |
| 5    | プロジェクト③        | 第二回「わかちあいカフェ」の実施と評価(7月)。                    |
| 6    | 事前研修②          | アジア学院でのワーク・キャンプのオリエンテーションを実施する。             |
| 7    | ワーク・キャンプ(宿泊研修) | アジア学院にて4泊5日のワーク・キャンプを行う(8月25日～28日)。         |
| 8    | 事後研修           | アジア学院での活動の評価を行う。                            |
| 9    |                |   |
| 10   |                |   |
| 11   |                |   |
| 12   |                |   |
| 13   |                |   |
| 14   |                |   |
| 15   |                |   |

|                     |   |
|---------------------|---|
| 定期試験                | アジア学院でのワーク・キャンプの報告レポートをもって試験に替える。                               |
| 授業時間外学習             | ①課題読書 ②「カフェ」のための直前準備等 ④アジア学院での研修後、活動報告の成作                       |
| 評価方法                | ①事前研修(「カフェ」企画運営への貢献)30% ②アジア学院でのワーク・キャンプへの参加40% ③事後学習(レポート)30%  |
| 使用する教科書(必ず購入してください) | 授業中に適宜必要資料を配布する。  |
| 参考文献                | 高見敏弘「土とともに生きるーアジア学院とわたし」日本基督教団出版局(1999)<br>「モンサントの不自然な食べ物」(DVD) |